

タケシールAE211プライマー

防水材用下塗り材

タケシールAE211プライマーは、環境に配慮した水性エポキシ樹脂系下塗り材です。水系低臭で作業性に優れながら従来の溶剤型2液エポキシ系を凌ぐ下地接着性と耐水性を実現しました。施工直後も極めて低臭で、硬化後も早期に臭いが消滅しますので外部のみならず建物内部での作業においても、作業者ならびに周囲の安全な作業環境維持が可能です。

- 特徴**
- モルタル・コンクリート・スレートなどの無機質の素材への浸透力に優れ、内部深く浸透することで表面部分の強度を内部から改善し、密着力の強化と共に外気や水分の侵入を防ぎます。
 - A液B液混合後の**可使時間が約2時間と長く**、作業性に優れています。
 - 上塗り可能時間(4日以内)**がウレタン系プライマーに比べ極めて長いため、工期に余裕があります。
 - 劣化の進行した古い**下地の表面強度の改善**と、**中性化等劣化の進行抑制**に顕著な効果を示します。

用途 **モルタル・コンクリート・スレート・鉄部・FRP防水及びエポキシ系塗床材への塗り重ね**

配合 A液：B液＝1：1（重量比）

荷姿 **8kgセット（A：4kg+B：4kg）・2kgセット（A：1kg+B：1kg）**

標準塗布量

| 下地の種類 | 塗布量 | 塗布回数 |
|--------------------|-----------|----------|
| モルタル・コンクリート | 0.3kg以上/㎡ | 2回に分けて塗布 |
| 鋼板（脱脂・目荒し後） | 0.1kg/㎡ | 1回 |
| スレート | 0.3kg以上/㎡ | 2回に分けて塗布 |
| FRP防水（表面研磨・アセトン拭き） | 0.1kg/㎡ | 1回 |
| エポキシ系床材（目荒し後） | 0.1kg/㎡ | 1回 |

- ※モルタル・コンクリート・スレート面に塗布する場合は、1回目0.15kg/㎡を塗布（気温25℃：2～3時間以上養生）硬化確認の上、2回目も同量の0.15kg/㎡を塗布します。（気温25℃：3～4時間以上養生）硬化確認の上、4日以内に次の工程へ進みます。
- ※仕上りの目安は、艶のある濡れ色となるように塗布してください。下地への吸い込みが激しい場合は、硬化確認の上、再度タケシールAE211プライマーを塗布してください。
- ※次の工程までに4日以上経過した場合は、ペーパー等で目荒し後、再度タケシールAE211プライマーを塗布してください。
- ※下地によっては吸い込みが激しく再度プライマーを塗布しても適切な状態に仕上がらない場合があります。その場合は、プライマーA液：B液：普通セメント（ポルトランドセメント）＝1：1：1（重量比）にて混合、十分な攪拌後、下地に刷り込むように塗布してください。
- また、施工前から下地の状態が悪いことが確認されている場合は、プライマーを塗布する前に当社下地調整材（タケモルカチオンEV+タケモルフィラーA-1又はA-2）にて補修を行ってください。
- ※鋼板下地に塗布する場合は、60～80番程度のペーパーにて表面研磨後、シンナーで脱脂を行ってください。
- ※FRP防水の上に塗布する場合は、60～80番程度のペーパーにて表面を研磨（ワックス成分を除去）後、アセトンで拭き取りをした上で塗布してください。
- ※エポキシ系床材及び硬質塗膜下地の場合は、80～320番程度のペーパーにて表面を研磨した上で塗布してください。

乾燥時間 モルタル・コンクリート・スレートなど吸い込みがある箇所の場合

| | |
|-----|--------------|
| 1回目 | 2～3時間以上（25℃） |
| 2回目 | 3～4時間以上（25℃） |

鋼板・FRP・エポキシ系塗床材など吸い込みが無い箇所の場合

3～4時間以上（25℃）

乾燥硬化していることを確認の上、次の工程へ

タケシールAE211プライマー

性状

| 項目 | A液 | B液 |
|----------------|---------|-------|
| 外観 | 淡黄色透明液体 | 乳白色液体 |
| 比重（20℃） | 1.1 | 1.0 |
| 不揮発分（%） | 28 | 35 |
| 配合比（重量比） | 100 | 100 |
| 混合物の可使用時間（25℃） | 混合後 2時間 | |
| 指触乾燥（25℃） | 3～4時間 | |
| 上塗り可能時間 | 4日以内 | |

密着強度

試験作成条件＝基材に試験体を塗布、24時間養生後当社製品ウレタン防水材料を塗布7日間養生

引張り試験

| | | |
|--------|-------------------------|------|
| モルタル下地 | 24kgf以上/cm ² | 基材破壊 |
| 鋼板下地 | 18kgf以上/cm ² | 界面破壊 |

使用上の注意

- ・使用前には、缶を良く振り内容物が均一な状態となるようにしてください。
- ・A液B液混合攪拌後、2時間を経過した混合液は使用しないでください。下地との接着強度不足を生じる原因となります。
- ・可使用時間内で使い切れる量を小分けして使用してください。小分けの際は、必ず重量計を使用して適量を混合してください。
- ・施工中、施工後5時間以内に降雨、降雪が予測される場合や、気温及び下地温度が10℃以下・湿度85%以上となる場合は、施工しないでください。
- ・取扱い後は、手洗いうがいを十分に行ってください。
- ・取扱いの際には、保護マスク・保護眼鏡・保護手袋・長袖、長ズボンなど適切な保護具を着用してください。
- ・吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させ、気分が悪い場合は医師の診断を受けてください。
- ・皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗い、外観に変化がある場合や皮膚刺激が生じた場合は、医師の診断を受けてください。
- ・眼に入った場合：水で数分間注意深く洗いコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、その後も洗浄を続けてください。眼に刺激が続く場合は、医師の診断を受けてください。
- ・誤って飲み込んだ場合：水で口の中を洗浄し、コップ1～2杯の水又は牛乳を飲ませて直ちに医師の診断を受けてください。被災者に意識が無い場合は、口から何も与えないでください。
- ・保管は、屋内の通気の良い場所で容器を密閉して保管してください。火気厳禁。水、雨濡れに注意してください。
- ・空容器、残塗料の廃棄は、都道府県知事の許可を受けた廃棄物処理業者に委託して処理してください。
- ・他、商品に対しての安全な取り扱いについて詳しくは安全データシート（SDS）を参照してください。

品質保持期限

出荷後6か月

製造元

問い合わせ：

改訂 202006-U

品竹林化学工業株式会社

〒577-0836

大阪府東大阪市渋川町3丁目1-43

TEL：06-6721-6165（代）

URL：<https://www.takebayashi-ci.com/>

E-mail：info@takebayashi-ci.com